

## サンフランシスコ平和条約



1951年 (昭和26年)	サンフランシスコ平和条約により日本は千島列島と南樺太を放棄。 図4
1956年 (昭和31年)	日ソ共同宣言により両国の国交回復。ソ連は平和条約締結後に、歯舞群島と色丹島を引き渡すことに同意。
1991年 (平成3年)	日ソ共同声明により、北方四島が平和条約により解決すべき領土問題の対象であることを確認。 (ソ連が崩壊し、新生ロシアが誕生)
1993年 (平成5年)	東京宣言により、領土問題を北方四島の島名をあげて、その帰属に関する問題と位置付ける。
2001年 (平成13年)	イルクーツク声明。東京宣言に基づき四島の帰属の問題を解決して、平和条約を締結すべきことを再確認。

放棄した千島列島に日本の領土である北方四島は含まれていません。ソ連は調印を拒否したため、日本とソ連(ロシア)の間で平和条約を結ぶ交渉が現在まで続いています。

1992年から、相互理解を目的に、北方四島交流が続いています。

北方領土に住む  
ロシア人との交流



(写真提供：北方領土問題対策協会)



地図中で南樺太や千島列島はなぜ白塗りなの？

北緯50度以南の樺太とウルップ島以北の千島列島は、サンフランシスコ平和条約で日本が放棄しましたが、それがどの国の領土かは現在まで未定です。よって日本の地図では図4のように4本の国境線が引かれ、陸地部分を白く表現しています。

## 3 国際法から見た北方領土



### [1] 北方領土が日本固有の領土である根拠

○ 北方領土にはかつて外国人が定住した事実がなく、また外国の支配下にあったこともありません。

この事実を踏まえて1855年の日露和親条約では日露国境を択捉島とウルップ島の間に設定しました。 図1

○ サンフランシスコ平和条約で、日本は千島列島を放棄しましたが、我が国固有の領土である北方領土は、この千島列島には含まれていません。

このことは1956年にアメリカ政府も公式に明らかにしています。 図4

### [2] ロシアの主張とこれに対する日本政府の見解

#### ロシアの主張

1945年に署名されたヤルタ協定をあげています。  
この協定には、樺太の南部及びこれに隣接する全ての島はソ連に「返還」すること、及び千島列島はソ連に「引き渡す」ことが書かれています。

#### 戦前の大運動会(歯舞群島・多楽島)



(写真提供：北方領土問題対策協会)

#### これに対する日本政府の見解

ヤルタ協定は、米・英・ソ三国間の秘密協定であり、日本はこの協定に参加していません。日本がこれに拘束されることはなく、また同協定が領土移転の法的効果を持たないことは、アメリカも公式に表明しています。

#### 元島民による慰霊祭



(北海道庁ホームページ)

### ● 北方領土問題についての日本政府の基本的方針

- 北方四島の帰属の問題を解決してロシアと平和条約を締結するという一貫した方針の下、粘り強い交渉を継続します。
- 北方領土に現在居住しているロシア人住民(約16,000人)の人権、利益及び希望は北方領土返還後も十分に尊重します。